

## 平成 30 年度三重県厚生事業団事業報告書

### 1 いなば園の自立経営

三重県いなば園は、障害者総合支援法サービス体系で利用者本位の支援を行った。障害者支援施設への入所者は 10 名で、地域から 6 名、福祉型障害児入所施設から 4 名であった。退所者は 12 名で、地域移行者 1 名、他施設への移行者 2 名、病院への入院者 9 名、であった。

福祉型障害児入所施設は入所児が 7 名（内措置 6 名、契約 1 名）、退所児は 9 名で地域移行者が 5 名、障害者支援施設への入所が 4 名であった。

### 2 三重県身体障害者総合福祉センターの指定管理

三重県身体障害者総合福祉センターを、指定管理者として管理運営を行った。障害者支援施設部門は、障害者総合支援法サービス体系で支援を行い、入所利用者の地域移行者は 17 名で、退所者総数に対する割合（地域移行率）は 94.4% であった。

### 3 第五次中期経営計画の取組み

#### (1) マネジメントシステムの展開

「バランススコアカード」に沿って、所属長のマネジメントシートを用いて、数値目標の設定、情報の共有化、対話による事業実施などの手法により、法人理念に基づいた経営を行った。

#### (2) 利用者、職員アンケートの実施

現状を正確に把握、認識するため、利用者並びに家族、及び職員に対し意識調査をアンケート形式で行った。

対 象	実施日	回 答 数
いなば園 利用者嗜好調査	平成 31 年 2 月	150/150 名(100%) ※職員代筆含
いなば園 利用者アンケート	平成 30 年 12 月	148/148 名(100%) ※職員代筆含
いなば園 保護者アンケート	平成 30 年 12 月 ～平成 31 年 1 月	70/140 名(50.0%)
身障センター 利用者アンケート	平成 30 年 8 月 平成 31 年 2 月	92/119 件(77.3%) 89/133 件(66.9%)
事業団職員アンケート	平成 30 年 12 月	167/176 名(94.9%)

#### (3) 人材育成の取組み

平成 30 年度採用職員を対象に 4 月 2、3 日に「新入職員研修」、10 月 10 日に「採用後 6 か月研修」を、採用後 2 年目の職員を対象に 9 月 12 日に「中堅職員研修」を実施した。また、新たに管理職に任用された職員を対象に 6 月 26 日に「課長・寮長昇格時研修」「副寮長昇格時研修」を実施した。他に 4 月 18、19 日、7 月 17、18 日に課題別法人研修を実施する等の研修活動を行った。

人事考課制度の考課結果に基づき、3 月賞与を支給した。

#### 4 法人の運営

##### (1) 理事会の開催

法人の事業報告、収支決算及び事業計画、予算等について審議するため理事会を開催した。

	開催期日	審議内容
第104回理事会	平成30年5月28日	<ul style="list-style-type: none"><li>平成29年度事業報告及び決算の承認について</li><li>平成30年度定時評議員会の招集について</li><li>平成30年度定時評議員会の議案及び報告の提案について</li><li>評議員選任・解任委員会委員の決定について</li><li>評議員選任・解任委員会の招集について</li><li>評議員候補者の推薦について</li></ul>
第105回理事会	平成31年3月26日	<ul style="list-style-type: none"><li>諸規程の改正について</li><li>平成30年度補正予算について</li><li>平成31年度事業計画及び予算について</li><li>評議員選任・解任委員会の招集について</li><li>評議員候補者の推薦について</li></ul>

##### (2) 評議員会の開催

	開催期日	審議内容
平成30年度定時評議員会	平成30年6月15日	<ul style="list-style-type: none"><li>平成29年度決算の承認について</li></ul>

##### (3) 監査

事業執行状況の監査が行われた。

監査実施者	期日	監査内容
法人監事	平成30年5月18日	平成29年度事業及び決算監査
外部監査	平成30年9月3、4、5日	平成29年度決算監査

##### (4) 経営会議

法人の具体的経営方針を決定するため、理事長、常勤理事及び施設長による経営会議を年間17回開催した。

(5) 施設の経営

①稼働率

	事業	事業所名	定員	稼働率	指定（開設）年月日
いなば園 (昭和52年開設)	施設入所支援事業所	すぎのき寮 かしのき寮 もみのき寮	40名 40名 40名	95.3%	平成20年3月1日
	一体型共同生活援助事業所	ドリームハウス レインボーハウス ひだまりはうす こもればはうす	4名 4名 8名 7名	97.8%	平成18年10月1日
	多機能事業所	工房いなば	①20名	70.0%	平成19年4月1日
	①就労継続支援B型 ②生活介護		②11名	90.0%	平成21年4月1日
	①生活介護 ②短期入所(単独型)	スマイルいなば	①20名 ②10名	73.0% 92.0%	平成28年4月1日
	福祉型障害児入所施設	くすのき寮	30名	94.1%	平成24年4月1日
	多機能事業所 ・児童発達支援 ・放課後等デイサービス	プリズム	10名	96.2%	平成23年5月1日
身障センター (昭和60年開設)	身体障害者福祉センターA型	三重県身体障害者 総合福祉センター	—	貸出施設 年間延利用者 31,241人	昭和60年4月1日
	施設入所支援事業所		40名	93.9%	平成18年10月1日
	生活介護事業所		12名	20.7%	
	機能訓練事業所		27名	104%	
	生活訓練事業所		14名	76.4%	
	就労移行事業所		7名	51.1%	

②みえ福祉第三者評価事業

いなば園くすのき寮が、みえ福祉第三者評価事業の評価を受け、課題の改善に取り組んだ。

(6) 主な各種事業

①障害児等療育相談支援事業（いなば園）

在宅の知的障がい児等の地域生活支援を目的として三重県いなば園内に相談支援員が常駐し、専門機関と連携した相談、情報提供、各種サービスの利用調整を行った。

（相談支援対象者 津市 52名）

②津市障がい者相談支援事業（いなば園）

津市の障害者福祉の向上、社会参加を促進するため、津市障がい者相談支援センターに相談支援員が駐在し、訪問及び外来等による相談支援や関係機関との連絡調整を行った。（相談支援対象者 150名）

③伊賀市相談支援事業（いなば園）

伊賀市から障がい者（児）のケアマネジメント及び相談支援業務を受託し、職員 1 名が専任した。（相談支援対象者 376 名）

④三重県障がい者就労安心事業（いなば園）

一般就労を希望する施設利用者に、施設利用契約終了後も就労促進及び就労定着化を図ることを目的に、相談や交流活動等の支援を実施した。（支援対象者 2 人）

⑤三重県重度障がい者等地域移行支援事業（いなば園）

知的障がい児施設に入所している加齢児の地域移行推進のためのネットワーク構築、支援の場の確保等を目的とする事業を三重県から受託し、支援を行った。（支援対象者 2 名）

⑥三重県高次脳機能障がい及びその関連障がいに対する支援普及事業（身体障害者総合福祉センター）

高次脳機能障がい者及びその家族の地域生活を支援することを目的に、相談支援、関係機関との支援ネットワークの充実及び支援関係者を対象とした研修を開催した。（相談支援対象者 193 名）

⑦三重県障がい者スポーツ推進事業（身体障害者総合福祉センター）

2021 年開催の第 21 回全国障害者スポーツ大会三重とこわか大会に向け、障がい者スポーツ選手・団体の育成・強化・競技力の向上、指導員・審判員等の養成、障がい者スポーツ普及啓発等を行った。

また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会キャンプ地誘致につなげるため、競技大会キャンプ地誘致に向けた合宿招致事業、事前キャンプ地誘致に向けた大規模大会開催事業に協力した。

⑧三重県障がい者スポーツ運営事業（身体障害者総合福祉センター）

県内で活動している障がい者スポーツ団体に運営費用等を補助し、競技団体の活動を育成し、競技大会参加選手の強化を推進した。

⑨三重とこわか大会競技役員等養成業務

審判員の資格維持、資質向上を図るため、中央競技団体が主催する大会等への派遣、競技団体講師等による県内講習会を行うとともに、大会運営能力の強化及び障がい者スポーツへの理解向上のため、先進県の競技団体、会場地の現地調査・視察や研修会を実施した。